



編集発行
公益財団法人 不老会
〒460-0008
名古屋市中区栄
2丁目10-19
名古屋商工会議所内
9:00~12:00 13:00~17:00
土日祝休
電話 (052) 203-4580
FAX (052) 253-7123
ホームページ
<http://furo-kai.or.jp>



第五十一回 献体者顕彰式並びに 第四十一回 御名札納め式

令和七年五月九日(金)、名古屋市平和公園内「献体の塔」にて不老会関係者約三百名が集い執り行われました。

式辞

理事長 久野 格彦

薫風の大変心地よい季節となりました。本日ここ平和公園の高台にそびえる献体の塔にて「第五十一回 献体者顕彰式並びに第四十一回 御名札納め式」の式典を挙行するにあたり、不老会を代表して謹んでご挨拶を申し上げます。

本日の式典は、ご遺族様をはじめ多くの方々にご参列をいただき式典が挙行で

きますことは、不老会会員一同にとってこの上ない喜びであります。

皆さまご案内のように、不老会の由来は戦後最大の国家事業、愛知用水建設事業の推進過程で犠牲になられた五十六柱の御霊の慰霊鎮魂への思いから、医学の発展に寄与する献体組織として、昭和三十七年一月に設立されました。以来今日まで、医学・歯学教育の根幹をなす人体解剖と、視覚に障害を持つ方々に光を差し上げる献体・献眼活動を展開してまいりました。

本日御名札をお納めするこの献体の塔は、多くの皆さんの善意に支えられて、昭和六十年四月に建立され四十年が経過したところであります。

不老会創立から今日までに登録会員総数は、二万五千余名に達し、既に成願された会員の総数は、一万九百五十八柱となりました。本日新たに御名札をお納めするのは、二百四十九柱の御霊であります。

ここに、成願者の献体・献眼のご意志を尊重しお支え下さったご遺族の深いご理解とご協力に対し、衷心より敬意と感謝を申し上げます。



杉浦副理事長

久野理事長

県内五大学の医学部・歯学部におかれましては、今日まで、成願者の崇高な献体の志を無にすることなく、手厚く迎え入れていただいた事に、心より感謝を申し上げます。また、先進的な医学・歯学医療の教育にも多大な成果をあげておられ、解剖教育の充実に取り組んでいただいている事に深く感謝申し上げます。今後より一層優れた医師や医療従事者の育成にご尽力されることを切望して止みません。

われわれ不老会員は、無条件無報酬の献体・献眼運動に一層真摯に取り組む、医学・歯学の進歩・発展に寄与し、眼の不自由な方々に光をお届けし、世界の平和のために、一人ひとりの力は小さくとも、互いに手を取り合って目的に向かって前進することをここにお願い申し上げます。

献体成就なされた先人の皆さん、どうか私達不老会の活動をこれからもあたたく見守りお導きください。

終わりに、ご遺族のご健勝と一万千九百五十八柱の御霊の安らかならんことをお祈りして、式辞といたします。

顕彰のことば

愛知県知事 大村 秀章

公益財団法人不老会の第五十一回献体者顕彰式並びに第四十一回御名札納め式が挙行されるに当たり、謹んで顕彰のことばを申し上げます。

医学の進歩発展を願い、無償・無条件で献体をされ、本日「献体の塔」に御名札が納められます不老会物故会員の皆様の御遺徳をたたえるとともに、その崇高なる精神に対しまして深く敬意を表します。



保健医療局 局長 長谷川勢子様

医学及び歯学教育における人体解剖実習は、今後の医療を担っていく学生が、医学の基礎である人体の構造と機能を学ぶために必要不可欠な場であるとともに、人間の尊厳、生命への畏敬の念を体得する極めて貴重な機会であります。

また、御遺体を用いた研修は、学生だけでなく、医師や歯科医師を始めとする医療従事者の技術向上にも資するものであり、医学の発展に大きく貢献をしております。

さらに、目の不自由な方々のために角膜を御提供いただくことにより、多くの方々が光と大きな喜びを取り戻すことができっております。

このように、献体により愛知県における医療の進歩・確保に大きく貢献していただいておりますことは、不老会会員の皆様並びに御遺族の皆様の深い御理解と御協力の賜物であり、ここに深く感謝申し上げます。

最後に、これまで献体をされました物故会員の皆様のご冥福を心からお祈りいたしますとともに、今後、不老会の活動の輪が更に広がりますことを御祈念申し上げます。顕彰のことばといたします。

慰霊のことば

五大学代表

愛知医科大学医学部長 笠井 謙次

本日、ここに公益財団法人不老会関係者並びに来賓各位のご参列のもと、第五十一回献体者顕彰式並びに第四十一回御名札納め式が執り行われるに際し、愛知県、医科歯科系五大学を代表して、謹んで慰霊のことばを捧げます。

医学あるいは歯学を学び、医療に携わる者にとりまして、人体の構造と機能を深く理解するために、系統解剖学が欠かすことのできない極めて大切な学問であ



愛知医科大学医学部長 笠井謙次様

ることは申すまでもございません。

不老会結成以来、医学や歯学の進歩発展を願い、人類の健康・福祉増進のため、自ら進んでご遺体を捧げられました方々は、一万千九百五十八柱となりました。

また、不老会は、二万五千五百八十三名の会員を擁するまでに発展され、その比類なき功績は周知の通りであります。

系統解剖によって、多くの学生と研究者がはかり知れぬ貴重なご教示と知見を賜うることができますことは、ひとえに、自らのご意志で、ご遺体を医学・歯学の教育・研究のために捧げるといふ皆様の崇高なる精神に支えられているのであります。このような皆様の尊きご遺志が、まさに日進月歩の現代の医学・歯学を根底で支えていると申せましょう。

私どもは、皆様のご恩徳に報いるため、この尊きご遺志を今後とも深く心に銘記し、医学並びに歯学の進歩発展のために更なる努力を重ねてまいることが、私どもに課せられた責務であると痛感いたしましたしております。ご成願なさいました皆様、どうか安らかにお眠りください。

ここに五大学を代表して衷心より御礼申し上げ、慰霊のことばといたします。

感謝のことば

五大学学生代表

愛知医科大学医学部 崎枝 昂世

本日、第五十一回献体顕彰式並びに第四十一回御名札納め式にあたり、愛知県、医科歯科系五大学を代表して、感謝の言葉を述べさせていただきます。

はじめに、医学教育の発展のために献体して下さった方々、そして献体に同意してくださったご遺族の皆様にご心より感謝申し上げます。

一年ほど前、入学し、授業が始まってまもない頃に、本学の解剖学実習の見学をさせていただきました。解剖学に関する知識がまだ何もありません。実習見学に臨んで、初めてご献体に対面させていただきました。当時の感想を当時の日記に書き記していました。「今日、自分がどんな学部に入学したのか、将来どんな職業に就くのか、その職業に就くことにはどれだけの責任が伴うのか、ご献体から多くのことを考えさせてもらった。これを機に医学生としての態度、医学という勉強への姿勢をもう一度考え直し、改めていこう」と。この時には来年解剖実習をすること



愛知医科大学医学部 崎枝昂世様

への責任感や本当に私が解剖できるのだろうかという不安がありました。

それから一年間、医学に対して真摯に向き合い、授業、実習を真面目に受け、沢山のことを学び、医学生として成長してきました。授業で学び、試験を受けたことで身につく知識はありましたが、座学ではわかりづらいことも多く、全てを完璧に理解できたわけではなく、まだまだ不十分だと思いました。

今年の四月からついに二年生になり、実際に自分の手でご献体にメスを入れました。最初は本当に緊張しましたが、私の人生の初めての患者さんが目の前のご

献体だということを肝に銘じて、毎時間責任を持って集中して実習に取り組んでおります。解剖をしていくことで得られた学びは数えきれないほどありました。皮膚、脂肪がどのように外部と内部を隔てているのか、血管、神経の走行はどうなっているのか、耳下腺など各臓器の見え、質感、座学では決して得られず、気づきもしなかった多くのことを、自分の感覚を研ぎ澄ませながら実習を受け、感じ取ること、学ぶことができています。この経験は絶対に忘れられないものであり、実習を受ける前と受けた後では、解剖に対する理解もより深まり、なぜ解剖実習を世の医学生、歯学生がしなければならぬのか、その意義を自分なりに感じ取り、実習の大切さに納得することができました。

最後になりましたが、医学・歯学を目指す私たちに大切なお身体をご献体してくださいました方々のご冥福を心よりお祈り申し上げますとともに、ご遺族の方々、並びに不孝会関係者の方々に厚くお礼申し上げます。感謝の言葉とさせていただきます。本当にありがとうございます。

お礼のことば

遺族代表 海田 孝之

本日は第五十一回献体者顕彰式並びに第四十一回御名札納め式を厳粛に挙行していただき深く感謝申し上げます。

令和六年度に成願された二百四十九名の献体者のもとより、遺族としてもとてもありがたく光栄なことに感謝し、代表として心よりお礼を申し上げます。

父は昨年九月二十三日夜、老衰のため自宅で亡くなりました。享年八十九歳でした。入院して胃ろうをすればもう少し長生きしてもらえたはずですが、本人はそれを望まず、父らしい命の全うの仕方だったのかなとも思います。



遺族代表 海田孝之様

父の一番好きだった言葉は「自然随順」じねんずいじゆんです。習字が趣味であった父は、しばしばこの言葉を好んで筆で書いていましたので、今日は皆さんにも見ていただきました。その書を持参させていただき、母とともにここに立たせていただきました。



「自然随順」

父は生前、地域の住民の相談に応じる民生委員をしばらく務めておりましたが、役を引き受けた時に、会社勤めとの両立が難しいということで、突然勤めを辞めて、庭木の剪定の仕事に変わったことがあります。民生委員の任期を終えた晩年も、家の農作業や庭の手入れのかたわら、誰かに頼まれるわけでもなく近くの神社や、坊守のいないお堂の整備作業を黙々とおこなったりしていました。

ここ数年は体が思うように動かなくなつて、床に臥せることが多くなりましたが、会いに行くたびに喜んでくれ「あ

りがとう」の言葉や、大したこともできない私たちにも「よくやってくれる」が口癖でした。

このような父の生き様を見ると「自然随順」に対する父の想いとは、いわゆる自然主義でも自然の成り行きにまかせることでもなく「感謝のうちに自らは主張せず、無心に己をつくし、お役にたつこと」と受け止めることができます。

そして亡くなつてからもなお医学生の勉強のために、その身を役立てさせていただけの献体に、自らの意思で身をささげることは、父にとつての「自然随順」そのものだと思います。そのような父の生き方をふり返り、改めて尊敬の念を覚えております。

最後に、本日ご臨席の皆様と、不老会会員皆様のご健康とご多幸を祈念して、遺族代表のあいさつとさせていただきます。

ありがとうございました。



玄室内風景

医学のおはなし

私たちの体には、細菌やウイルスといった異物から守ってくれる免疫という仕組みがあります。免疫は体の中をパトロールし、敵を見つけると攻撃して排除します。しかし、免疫はなんでも攻撃するわけではありません。実は、体の中にはあえて攻撃しないものも存在します。この「攻撃しない仕組み」を免疫寛容といいます。

免疫寛容の一番身近な例は、自分自身を攻撃しないことです。免疫が自分の体を敵とみなしてしまうと、関節リウマチなどの自己免疫疾患が起こります。免疫はこのような誤った攻撃を防ぐため、日々バランスを取りながら働いています。さらに、体

の中には特に免疫の働きが抑えられている場所もあります。これらは免疫特権臓器と呼ばれ、代表的なものに胎盤、精巣、眼、脳があります。たとえば胎盤は、妊娠中に母体と胎児をつなぐ大切な器官です。胎児は母親と父

成長できるのです。精巣もまた、免疫が抑えられている場所の一つです。思春期以降に作られる精子は、免疫にとって「見慣れないもの」と判断されがちですが、精巣の中では免疫の働きが弱められていて、精子が守られ

免疫が見逃す特別な場所

～胎盤・精巣・眼・脳の免疫特権～

愛知医科大学

解剖学講座

教授

内藤 宗和

弱められていて、精子が守られ、免疫細胞が簡単には入り込めません。なぜなら、もし脳で強い免疫反応が起こると、神経細胞が傷ついてしまうからです。最近では、脳と免疫の関係が少しずつ明らかになりつつあり、神経免疫学という新しい分野も進んでいます。

親の遺伝子を半分ずつ持っています。この仕組みがうまく働くため、母体にとっては一部が「異物」ともいえます。それでも免疫が胎児を攻撃しないのは、胎盤で免疫反応がうまく抑えられているからです。この仕組みがあるからこそ、胎児は安全に

成長できるのです。精巣もまた、免疫が抑えられている場所の一つです。思春期以降に作られる精子は、免疫にとって「見慣れないもの」と判断されがちですが、精巣の中では免疫の働きが弱められていて、精子が守られ、免疫細胞が簡単には入り込めません。なぜなら、もし脳で強い免疫反応が起こると、神経細胞が傷ついてしまうからです。最近では、脳と免疫の関係が少しずつ明らかになりつつあり、神経免疫学という新しい分野も進んでいます。

公益財団法人不老会藤田医科大学部会会員の集いのお知らせ

このたび二〇二五年度会員の集いを左記のとおり、開催することとなりました。
部会会員の皆様方には、ご家族、お知り合いをお誘いの上、多数ご出席賜りますようご案内申し上げます。

記

日時 二〇二五年九月三〇日(火) 午前十時より
場所 藤田医科大学 大学二号館六階

準備の都合上、誠に恐縮ですが、ご出席いただける場合には、ハガキに住所、氏名、会員の方は会員番号、会員の集い出席とご記入のうえ、
九月五日(金)までに左記宛にお送りください。

《送付先》

〒四七〇―一一九二

豊明市杓掛町田楽ヶ窪一番地九八
藤田医科大学 大学事務局 総務部庶務課 不老会担当

藤田医科大学

医学部長

公益財団法人不老会

藤田医科大学部会長

廣瀬雄一
山本一義

公益財団法人不老会 藤田医科大学部会 会員各位

◎最初に医学講演会を予定しており、会員の集いは医学講演会が終了次第、開始致します。会員の集い終了後、本学学生との昼食懇談会を予定しております。

◎本案内をもって会員の皆様への通知に代えさせていただきます。

◎会場へのご案内(公共交通機関)

○名鉄前後駅から

・名鉄バス「藤田医科大学病院行き」、または「赤池駅(藤田医科大学病院・地下鉄徳重経由)行き」にご乗車ください。

○名古屋市営地下鉄各駅から

・桜通線徳重駅から、名古屋市営バス「徳重十三系統」または名鉄バス「前後(藤田医科大学病院経由)行き」にご乗車ください。

・桜通線鳴子北駅から、名古屋市営バス「鳴子十六系統」にご乗車ください。

・鶴舞線原駅から、名古屋市営バス「徳重十三系統」にご乗車ください。

・鶴舞線赤池駅から、名鉄バス「前後(藤田医科大学病院経由)行き」にご乗車ください。

○JR大高駅から

・名古屋市営バス「緑巡回」にご乗車ください。

※なお、当日午後二時よりフジタホール2000にて解剖体慰霊法要が執り行われる予定です。関係者には別途ご案内申し上げます。

公益財団法人不老会 名古屋市立大学会員のつどいのご案内

令和七年度の名古屋市立大学会員のつどいを左記のとおり開催いたしますので、市立大学に登録されている会員の皆様におかれましては、健康に充分ご留意の上ご出席くださいますようお願い申し上げます。

記

日時 令和七年十月二十一日(火) 午前十時三十分より
会場 名古屋市立大学本部棟四階ホール

●感染症予防のため換気等を十分に行った上で、健康講話および学生代表との会食・懇談を行います。

ご出席いただける方は、ハガキに「会員のつどい出席」と明記し、会員番号、住所、氏名を記入の上、十月十日(金)までに左記にお送り下さい。

〈送付先〉

〒四六七-八六〇-一 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄一

名古屋市立大学医学研究科 統合解剖学分野気付
(財)不老会 名古屋市立大学部会

本案内をもって通知に代えさせていただきます。

なお、当日午後一時三十分より「さくら講堂」において、令和七年度名古屋市立大学解剖感謝式が執り行われますことを併せてご案内申し上げます。

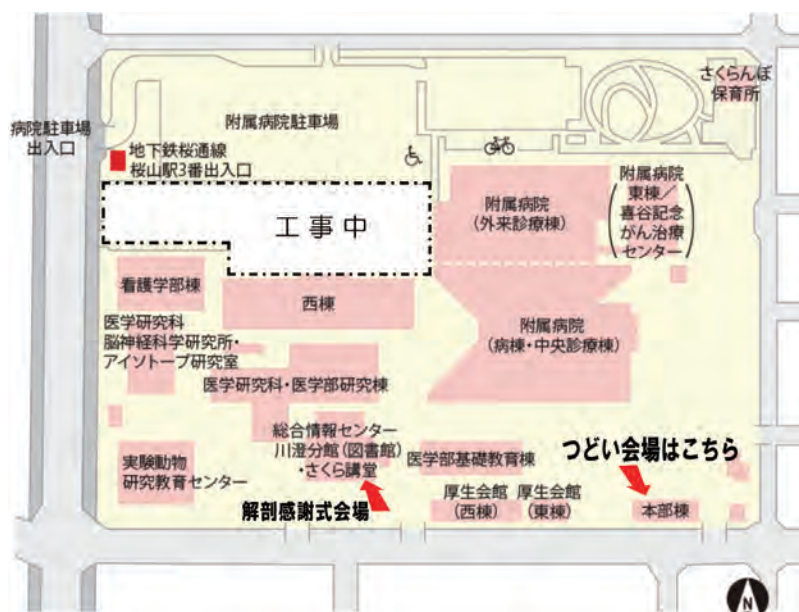
(公益財団法人) 不老会 会員各位

名古屋市立大学医学研究科長

不老会名古屋市立大学部会長

片岡 洋望

鈴木 慎吾



「名古屋大学不老会員の集い（講演会）」のお知らせ

令和七年度の「名古屋大学不老会員の集い（講演会）」を左記のとおり開催いたしますので、名古屋大学に登録されている会員の皆様におかれましては、ご家族、お知り合いをお誘いの上、多数ご出席くださいますようご案内申し上げます。

記

日時 十一月六日（木）午前十時三十分から（受付 午前十時十五分から）
場所 覚王山日泰寺普門閣（本堂左側の建物）
（名古屋市中種区法王町）

地下鉄東山線「覚王山駅」下車徒歩十分

講演 「運動器疾患と骨粗鬆症、ロコモを知ろう」

「いつまでも健康でアクティブな生活のために」

講師 今釜史郎先生（名古屋大学大学院医学系研究科整形外科科学・教授）

会場は、本堂に向かって左側の建物となりますので、ご注意ください。医学部長、不老会理事長のご挨拶などに引き続き、今釜史郎先生による講演会を開催いたしますので、ご参集ください。

ご出席くださる方は、準備の都合もありますので、誠にお手数をお掛けしますが、ハガキに「会員の集い出席」と明記し、住所・氏名・会員番号をご記入の上、十月十七日（金）までに左記へお送り願います。お昼はお弁当を用意いたします。

なお、当日午後一時三十分から同寺にて、名古屋大学医学部解剖弔慰祭が執り行われますことを併せてご案内申し上げます。

（公益財団法人）不老会 会員各位

名古屋大学医学部長

不老会名古屋大学担当理事

勝野雅央
杉浦康夫

（送付先）

〒四六六―八五五〇

名古屋市中昭和区鶴舞町六五

名古屋大学医学部解剖学教室（献体事務室）

本案内をもって通知に代えさせていただきます。

地区代表者会議

去る四月十六日(水)名古屋商工会議所ビル第六会議室にて開催されました。令和七年度事業計画書及び収支予算書について、地区活動についての報告が行われました。(事務局)

令和七年度第一回定時理事会

去る五月二十七日(火)不老会事務局にて開催されました。

- 一、令和六年度事業報告書(案)
 - 二、令和六年度計算書類(決算案)
 - 三、定時評議員会の招集について
- の議案が原案のとおり承認されました。(事務局)

令和七年度第一回定時評議員会

去る六月十日(火)名古屋商工会議所ビル第三会議室にて開催されました。

令和六年度計算書類(決算案)の件について原案のとおり承認されました。(事務局)



定時評議員会

令和七年度第一回五大学連絡協議会

去る七月三日(木)名古屋商工会議所ビル二階会議室にて開催されました。令和六年度に献体されたご遺体等の調査、各大学における現況・課題等の報告、不老会の今後の課題について意見交換がされました。(事務局)

愛知医科大学不老会会員の集い
愛知医科大学医学部解剖慰霊祭

令和七年五月十二日(月)午前十時三十分より、愛知医科大学不老会会員の集いが、医学部学生五十二名を含む総勢百

四十二名の参加のもと覚王山日泰寺普門閣にて開催されました。

ご成願されました御霊に黙とうを捧げた後、笠井謙次医学部長、不老会久野格彦理事長のご挨拶、医学部二学年次、田中さやさんの感謝の言葉と続きました。続いて「夜トイレに起きる理由とその対策——夜間頻尿と夜間多尿の違い——」と題して泌尿器科学講座、佐々木直人教授によりご講演をいただきました。高齢者特有の症状である夜間頻尿と多尿の違いなど、興味深い御講演内容に参加された皆さん熱心に耳を傾けてみえまし



佐々木直人教授のご講演



懇談会の様子

た。さらに、解剖学講座の内藤宗和教授から講座の現状や学生さんの様子などのお話がありました。

その後、昼食を摂りながらの懇談会へと移り、テーブルごとに学生さんたちと親しくお話しをしながら昼食を楽しみ、来年もお元気で出会い出来ることを願って閉会となりました。

同日、午後二時から日泰寺本堂において、ご遺族、不老会会員参加のうえ盛大かつ厳粛に解剖慰霊祭が執り行われました。

(広報 鈴木慎吾)

愛知学院大学不老会会員の集い 愛知学院大学解剖慰霊祭及び返骨式

令和七年六月二十七日(金) 午前十時より楠キャンパス講堂にて、愛知学院大学会員の集い・講演会が『見えない脅威——口腔微生物と全身疾患の驚くべき関係——』と題し、歯学部微生物学講座の長谷川義明先生にご講演いただきました。歯周病は人類史上最多の感染症としてギネスブックに収載されているとのこと。昔は「風邪は万病の元」と言われましたが、今や「歯周病は万病の元」のようです。会員の方々の質問にも丁寧にお答えいただき、まずはお口の健康を守り、心身共に健やかでいることの大切さをご教示いただきました。その後、歯学部基礎教育棟一階談話室に会場を移し学生さんとの懇談を楽しみました。また、午後二時よりは楠本キャンパス講堂に於いて、第六十三回解剖慰霊祭がご遺族・会員参加のもと厳粛に執り行われ、引き続き返骨式が粛々と行われました。

(広報 藤内美也子)



愛知学院大学解剖慰霊祭及び返骨式

地域地区集い開催報告

● 蒲郡市地区集い

四月二十二日(火) 蒲郡市勤労福祉会館二階で開催しました。防災のお話し後、新聞紙でスリッパを参加者全員で作りました。皆さんの元気なお顔が見られて良かったです。出席者三十二名

(代表 田川悦子)

● 西尾市地区会員の集い

四月二十六日(土) 西尾市総合福祉センターで新年度のスタートをしました。成願会員への感謝の黙祷、会員動向、前年度活動報告、会計報告、令和七年度活動計画、予算案、役員等提案が承認されました。その後、「見て楽しむマジックショー・歌って聞くフルート演奏・会員特別出演のピアノ演奏」で楽しい時間を過ごしました。出席者三十四名

(代表 長谷達士)

● 西区地区集い

五月四日(日) 西区生涯学習センターで開催しました。出席者十八名

● 一宮市地区集い

五月十八日(日) Iビル大会議室で開催しました。出席者三十七名

● 知多市地区集い

毎年、六月六日は集いの会と定め、出席者三十九名にて開催しました。来賓の知多市長、衆議院議員復興大臣、県議会議員、市議会議員のご祝辞を拝聴し、浅井常務理事より不老会運営活動の諸説を受けました。余興は、「ウクレレしようべい」と一緒に楽しく歌い、最後は、懇親食事で美食を味わい閉会しました。

(代表 竹内 司)



知多市地区集い

● 岡崎地区集い

六月十二日(木) 岡崎市役所会議室で開催しました。会場を七ブロックに分け、グループ内の参加者交流ができるようにしました。

宮田新代表から、

大山尚毅前代表へ感謝の言葉を贈りました。来賓に、内田康宏岡崎市長を迎え、ご挨拶をいただきました。その後、①岡崎地区のあゆみ(スライド)②私の入会のきっかけ③我が入会の思いを発表後、市の職員による「災害時避難行動要支援者支援制度」を受講しました。出席者四十一名



岡崎地区集い

(代表 宮田大治郎)

愛知用水のルーツを偲んで～

(令和7年3月14日(金))



3月14日(金)、一年ぶりの不老ウォーキングクラブ、今回は南加木屋駅から大堀緑道、愛知用水沿いを久野庄太郎翁の遺業を偲びながら佐布里池までの約4kmを歩きました。

朝は少し肌寒さを感じましたが、日中は汗ばむほどのいい天気恵まれて、17名の皆さんと共に歩くことができました。

梅まつりは終わっていましたが、今年は満開の梅の花も多く残っており、しだれ梅など多くの種類も見応え十分で、いい花見もできました。

そもそも佐布里の梅は、明治の初めに佐布里の鰐部亀蔵さんが、桃の木に梅を接ぎ木してつくり出した品種だそうです。そして梅の里「梅っ花そうり」は佐布里梅をはじめ25種類、約6000本の梅が植えられているのです。本当にきれいでした!!

愛知用水神社・水利観音にも参拝し、全員気持ちよく帰路につきました。

(幹事 杉山雄彦)



献体の塔 清掃報告

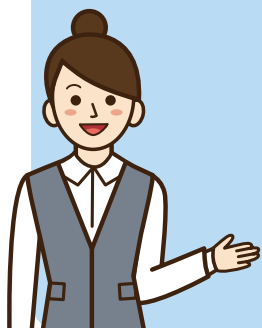


五月八日(木) 美濃、名古屋ブロックの会員さん、担当地区以外の会員さん総勢十八名の方々にご奉仕していただきました。顕彰式を翌日に控え、塔内部や周り、階段の掃除をしました。ご参加いただきました皆さん、ありがとうございました。(事務局)

献体の塔清掃奉仕作業のお願い

- 一、担 当 尾張ブロック、知多ブロック
ブロックに関係なくどなたでもご参加ください。
- 二、日 時 9月25日(木)
午前10時より
- 三、集合場所 名古屋市平和公園 献体の塔前広場
- 服装は、帽子、長袖、タオル、飲物などを用意しご参加ください。
- 参加者は全て勤労奉仕とします。

お引越しや施設に入所される方へのお願い



- ・ご家族に、改めて不老会の会員であることの確認を取りましょう。
- ・不老会の事務局にも、ご連絡ください。
- ・郵便局に郵便物を転送していただくよう、手続きを取りましょう。
- ・施設の職員さんに、不老会の会員であることをはっきりとお伝えしましょう。

お知らせ

不老会事務所の夏季お休み 8月13日(水)～8月15日(金)

追悼前理事長北村直哉様



令和七年三月二十五日成願されました。

私も理事の頃から大変お世話になりました。退任された後も元気なお姿を何度もこの不老会の様々な会合の中で拝見をさせていただいて、お元気を喜んでおりましたが、事務所の話によると転ばれて、そこから少し体調が悪くなつて老衰で亡くなられた。

改めて哀悼の意を表したいと思いますが、哀悼というよりは、北村さん大往生でよかったね。というふう

に申し上げたいと思います。本当に不老会のために長年尽くしていただいた方でした。飄々としてたくまざるユーモアのあった方だったというふうに思います。

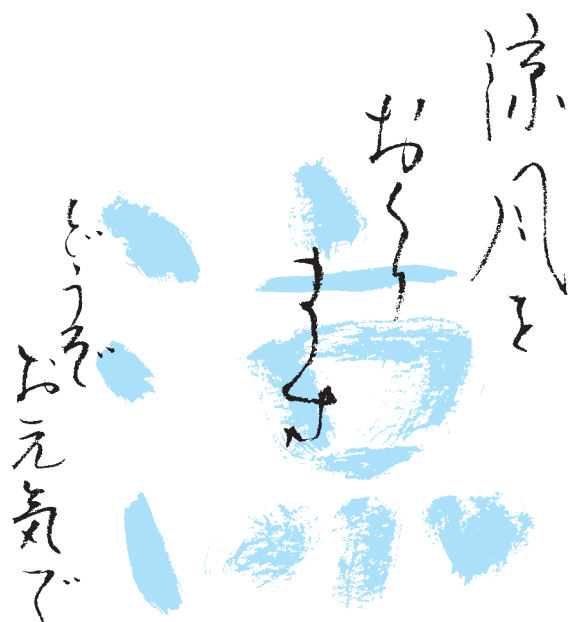
心からご冥福をお祈りいたします。
(常務理事 浅井直樹)

会員投稿

俳画



大府・東浦地区 野村悦子



北海道(道東)の山旅

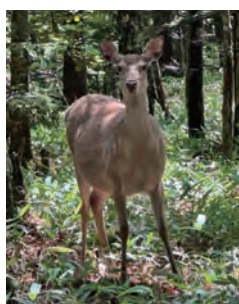
花の百名山の「アポイ岳」や日本百名山の「雌阿寒岳」などに登ってきました。摩周湖や釧路湿原などもめぐり、初夏の道東を満喫した山旅でした。



紺碧の水湛える摩周湖



高山植物の女王コマクサ



エゾシカ

熱田区地区 鈴木 愼吾

不老会会員のご家族にお願い

- 会員様のご逝去のとき、
すみやかに、下記の登録されておられる大学窓口へご連絡ください。
その際、電話に出た方に「不老会の会員ですが。」とお告げください。
そのとき、これからの献体のことについて、大学側との詳細な打合せが行われます。

<大学窓口の電話番号（不老会への参画順）>

名古屋大学医学部

- | | | |
|--------------|---------------|-----------|
| ・平日（9時～17時） | （052）741-2111 | 大学の献体事務室 |
| ・夜間や土、日、祝日など | （052）251-9296 | 代行窓口 |
| 上記以外の日時 | | （一柳葬具總本店） |

名古屋市立大学医学部

- | | | |
|--------------|---------------|-----------|
| ・平日（9時～17時） | （052）853-8121 | 大学の献体担当 |
| ・夜間や土、日、祝日など | （052）251-9296 | 代行窓口 |
| 上記以外の日時 | | （一柳葬具總本店） |

愛知学院大学歯学部

- | | | |
|----------------|--------------|-----------|
| ・年間をととして（24時間） | 0120-365-254 | 代行窓口（愛昇殿） |
|----------------|--------------|-----------|

藤田医科大学医学部

- | | | |
|----------------|---------------|-----------|
| ・年間をととして（24時間） | （052）910-1400 | 代行窓口（ティア） |
|----------------|---------------|-----------|

愛知医科大学医学部

- | | | |
|----------------|---------------|-------------|
| ・年間をととして（24時間） | （052）794-1811 | 代行窓口（田中葬具店） |
|----------------|---------------|-------------|

- ご逝去にともない、ご用意いただく書類

- ・死亡診断書（医師から受ける：**正本1通、コピー2通**）

正本1通は、市役所・区役所や役場に火葬許可を申請するときに提出します。

コピーは、1通は献体先の大学に、1通は献眼先のアイバンクに提出します。

- ・火葬許可書：**正本1通**

死亡診断書の正本を持参して、市役所・区役所や役場で交付を受け、ご遺体受け取りの大学に提出してください。火葬場は名古屋市八事斎場です。

注…交通事故、変死で死亡した場合及び死亡時に危険な感染症に感染している場合は献体できない場合がございます。（詳しくは、登録大学にお尋ね下さい。）

編集後記

残暑お見舞い申し上げます。

この暑さ続きには、ほとんど参りますね。

適度な水分補給をし、ご自愛下さい。

“不老会の集い” 公会堂でお会いしましょう。

（広報 大野和江）



地球の健康と
すべての人々の
健康で豊かな生活に
貢献します。

 **SUZUKEN**